

令和4年度 第2回

江東区地域包括ケア全体会議 次第

令和5年3月14日（火）午後1時30分

江東区文化センター6階 第1～3会議室

会議次第

I 議題

- 1 部会からの報告
- 2 多職種連携・住民主体の取組報告
- 3 失語症者向け意思疎通支援者派遣事業の実施について
- 4 令和3年度地域課題検討型地域ケア会議について
- 5 その他報告事項

配布資料

- 資料1 各部会報告
- 資料2 多職種連携・住民主体の取組報告
- 資料3 失語症者向け意思疎通支援者派遣事業の実施について
- 資料4 令和3年度地域課題検討型地域ケア会議について

参考

- 番号なし 江東区地域包括ケア全体会議 委員名簿
- 2022年度地域活動団体现況調査報告書

各部会報告

部 会	部会と取り扱う既存会議体等
在宅医療連携部会	江東区在宅医療連携推進会議、在宅医療多職種連携研修
認知症部会	認知症施策推進会議
障害児〈者〉の医療・福祉サービス部会	地域自立支援協議会 医療的ケア児支援連携会議 難病対策地域協議会
生活支援部会	下町支え合い会議、高齢者見守り連絡会、高齢者地域見守り連絡会
情報共有部会	I C T 準備協議会

在宅医療連携部会

議会	在宅医療連携推進会議	
構成員(参加は■)	■ 医師(サポート医、かかりつけ医等)	□ 柔道整復師
	■ 歯科医師	□ 社会福祉協議会
	■ 薬剤師	□ 社会福祉士
	■ 医療ソーシャルワーカー	□ 管理栄養士
	■ 看護師(訪問看護師)	■ 町会・自治会、一般区民
	■ 介護支援専門員	■ 民生・児童委員
	■ 訪問介護	□ NPO、地域活動団体
	□ リハビリ職	■ 長寿サポートセンター
開催内容	<p>令和4年度は令和5年1月23日(月)江東区文化センター</p> <p>◆在宅医療連携推進事業の実施報告と、在宅医療連携についての現状把握、課題共有</p> <p>◆在宅医療連携推進事業の進め方の検討及び意見交換</p>	
課題	<p>①在宅医療をすすめるためのスムーズな連携のあり方</p> <p>②地域での体制づくり</p> <p>③区民への周知・啓発</p>	
課題解決に向けた取組	<p>事業については感染症の動向を見ながらの対応とする。</p> <p>①在宅医療の連携のための情報共有、体制づくり 現状課題の再確認、連携シートの活用度などアンケート調査より把握、連携シート一部改訂予定</p> <p>②区民への周知・啓発 令和4年度在宅医療シンポジウム 令和4年10月30日開催 「住み慣れた地域で最期まで暮らすために～コロナ禍における在宅療養の実際～」、区民学習会を開催 令和5年度 医療機関マップ・在宅療養ガイドブック改訂予定</p>	

認知症部会

議会 認知症施策推進会議

構成員(参加は■)

<input checked="" type="checkbox"/> 医師(サポート医、かかりつけ医等)	<input checked="" type="checkbox"/> 柔道整復師
<input checked="" type="checkbox"/> 歯科医師	<input type="checkbox"/> 社会福祉協議会
<input checked="" type="checkbox"/> 薬剤師	<input checked="" type="checkbox"/> 社会福祉士
<input checked="" type="checkbox"/> 医療ソーシャルワーカー	<input type="checkbox"/> 管理栄養士
<input checked="" type="checkbox"/> 看護師(訪問看護師)	<input type="checkbox"/> 町会・自治会
<input checked="" type="checkbox"/> 介護支援専門員	<input type="checkbox"/> 民生・児童委員
<input type="checkbox"/> 介護福祉士(訪問、通所)	<input type="checkbox"/> NPO、地域活動団体
<input type="checkbox"/> リハビリ職	<input checked="" type="checkbox"/> 長寿サポートセンター

開催内容

認知症施策推進会議(全2回)
 第1回 令和4年7月28日(木)
 【内容】 令和3年度の実績報告等
 第2回 令和5年2月22日(水)
 【内容】 令和4年度の認知症関連事業の実施状況
 (地域支援推進員、もの忘れ予防健診等)

課題

認知症本人と家族を支える地域づくりの推進

課題解決に向けた取組

- ①認知症サポーターを地域で活動する「チームオレンジ」につなげるため、サポーター養成講座およびステップアップ研修を実施し、認知症本人と家族のニーズに応えた地域での支援の推進を目指す。
- ②認知症の早期発見・早期支援の取り組みとして、令和4年度より、70歳を対象としたもの忘れ予防健診を実施。

障害児(者)の医療・福祉サービス部会

会議	地域自立支援協議会	
構成員(参加は■)	<input type="checkbox"/> 医師(サポート医、かかりつけ医等)	<input type="checkbox"/> 柔道整復師
	<input type="checkbox"/> 歯科医	■ 社会福祉協議会
	<input type="checkbox"/> 薬剤師	<input type="checkbox"/> 社会福祉士
	<input type="checkbox"/> 医療ソーシャルワーカー	<input type="checkbox"/> 管理栄養士
	<input type="checkbox"/> 看護師(訪問看護師)	<input type="checkbox"/> 町会・自治会、一般区民
	<input type="checkbox"/> 介護支援専門員	<input type="checkbox"/> 民生・児童委員
	<input type="checkbox"/> 介護福祉士(訪問、通所)	■ NPO、地域活動団体
	<input type="checkbox"/> リハビリ職	<input type="checkbox"/> 長寿サポートセンター
開催内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 相談支援体制について ・ 専門部会の活動報告及び予定 	
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 計画相談支援事業者の支援 ・ 関係機関の連携による地域で支える体制の強化 ・ 基幹相談支援センターの設置検討 ・ 障害者福祉センターや児童発達支援センター等の区の障害者(児)施策における中核施設の役割・機能強化の検討 	
課題解決に向けた取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ 計画相談事業者支援の機能充実及び地域ネットワークを強化するため、地域における支援体制の検討を行う。 ・ 各専門部会で集約した地域課題の情報共有及び解決策の検討を行う。 ・ 上記組織や施設の方向性や素案について検討を行う。 	

障害児(者)の医療・福祉サービス部会

会議	医療的ケア児支援連携会議	
構成員(参加は■)予定	■医師	□柔道整復師
	■歯科医師	□社会福祉協議会
	□薬剤師	□社会福祉士
	■医療ソーシャルワーカー	□管理栄養士
	■看護師	□町会・自治会、一般区民
	□介護支援専門員	□民生・児童委員
	■介護福祉士(訪問、通所)	□NPO、地域活動団体
	□リハビリ職	□長寿サポートセンター
開催内容	第1回(令和4年12月7日) 医療的ケア児の現状報告、関係機関からの報告等	
	第2回(令和5年3月15日) 令和5年度予算について、関係機関からの報告(予定)	
課題	①保護者の負担軽減 ②関係機関の連携や情報共有	
課題解決に向けた取組	<ul style="list-style-type: none"> ・医療、福祉、子育て、教育など、各分野における支援に関する情報を一元化したガイドブックの作成。 ・医療的ケア児対応事業所の拡充を目的とした講演会の実施。 	

障害児(者)の医療・福祉サービス部会

議会	難病対策地域協議会	
構成員(参加は■)	■ 医師(サポート医、かかりつけ医等)	□ 柔道整復師
	■ 歯科医	□ 社会福祉協議会
	■ 薬剤師	□ 社会福祉士
	□ 医療ソーシャルワーカー	□ 管理栄養士
	■ 看護師(訪問看護師)	□ 町会・自治会、一般区民
	■ 介護支援専門員	□ 民生・児童委員
	■ 介護福祉士(訪問、通所)	■ NPO、地域活動団体
	□ リハビリ職	■ 長寿サポートセンター
■ その他(ハローワーク、東京都疾病対策課)		
開催内容	令和5年1月23日(月)開催 難病対策事業の報告及び情報交換 その他	
課題	①難病患者の個々の療養・生活に応じた支援 ②難病患者が利用できる制度・サービスの周知	
課題解決に向けた取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ 難病医療費助成申請時の面接で個々の療養・生活状況の確認、利用できる制度の周知 ・ 災害時の備えとして、災害時個別支援計画の策定や自家発電装置給付事業の推進 ・ 専門医や医師会、歯科医師会、薬剤師会の他、看護、介護、東京都の担当者やハローワーク、患者代表など多岐にわたった関係機関による意見交換 	

生活支援部会

会議	下町支え合い会議 高齢者見守り連絡会、高齢者地域見守り連絡会	
構成員(参加は■)	<input checked="" type="checkbox"/> 医師(サポート医、かかりつけ医等) <input type="checkbox"/> 歯科医 <input type="checkbox"/> 薬剤師 <input type="checkbox"/> 医療ソーシャルワーカー <input type="checkbox"/> 看護師(訪問看護師) <input checked="" type="checkbox"/> 介護支援専門員 <input type="checkbox"/> 介護福祉士(訪問、通所) <input type="checkbox"/> リハビリ職	<input type="checkbox"/> 柔道整復師 <input checked="" type="checkbox"/> 社会福祉協議会 <input type="checkbox"/> 社会福祉士 <input type="checkbox"/> 管理栄養士 <input checked="" type="checkbox"/> 町会・自治会、一般区民 <input checked="" type="checkbox"/> 民生・児童委員 <input checked="" type="checkbox"/> NPO、地域活動団体 <input checked="" type="checkbox"/> 長寿サポートセンター
開催内容	<ul style="list-style-type: none"> ・「下町支え合い会議」は、多様な関係主体間の情報共有及び連携推進を図るため、令和5年2月7日に開催した。 ・「高齢者見守り連絡会」は年1回開催予定、「高齢者地域見守り連絡会」は全8回、地域毎に実施した。 	
課題	①高齢者の活動の場やきっかけづくり ②地域の多様な主体が助け合い活動を行っていくための機運・醸成	
課題解決に向けた取組	①「シニア世代地域活動あと押しセミナー」において地域活動の説明・相談会を実施した。地域を支える担い手による活動事例を紹介し、受講生への多様なきっかけづくりを図った。 ②平成30年度より介護予防・日常生活支援総合事業として本格実施した通所型サービスB「ご近所ミニデイ」運営団体の新規開設を図った。今後も拡充を目指して積極的にPRしていくほか、実施団体の円滑な運営に向けた支援等を行っている。	

情報共有部会

会議	ICT準備協議会	
構成員(参加は■)	■ 医師(担当理事)	<input type="checkbox"/> 柔道整復師
	■ 歯科医師	<input type="checkbox"/> 社会福祉協議会
	■ 薬剤師	<input type="checkbox"/> 社会福祉士
	<input type="checkbox"/> 医療ソーシャルワーカー	<input type="checkbox"/> 管理栄養士
	■ 看護師(訪問看護師)	<input type="checkbox"/> 町会・自治会、一般区民
	■ 介護支援専門員	<input type="checkbox"/> 民生・児童委員
	■ 介護福祉士(訪問、福祉用具)	<input type="checkbox"/> NPO、地域活動団体
	<input type="checkbox"/> リハビリ職(PT、ST)	■ 長寿サポートセンター
開催内容	令和5年2月3日(金) 【内容】MCSの利用状況に関する報告	
課題	1. 多職種からなる関係機関の情報共有について 2. 特にICTを利活用した情報共有について	
課題解決に向けた取組	他区のMCSの利用状況に関して調査結果を報告した。今後は行政と医療機関、介護事業所等との情報共有の方法について、広く情報収集や個人情報取扱い方法の変化を踏まえ、MCS以外のICTツールも含めて検討する。	

◆多職種連携の取組事例

◆住民主体の取組事例

多職種連携の取組

事例

- 事例 1 江東区医師会
- 事例 2 順天堂東京江東高齢者医療センター
- 事例 3 (公社) 東京都理学療法士協会江東区支部

住民主体の取組

事例

- 事例 1 江東区助け合い活動連絡会通信
2022年度地域活動団体现況調査報告書

令和 5 年 3 月 14 日

江東区医師会

地域包括ケア全体会議 団体報告

1. 介護保険への取り組み

- (1) 保険者（江東区）との連絡協議会（介護保険検討委員会）の実施
- (2) 介護保険審査会への委員の派遣と審査判定への協力
- (3) 主治医意見書研修会の開催
- (4) 主治医意見書検討委員会の実施

2. 多職種連携への取り組み

- (1) ブロック別多職種意見交換会の開催
- (2) 多職種間コミュニケーションツール、メディカルケアステーション（MCS）の普及啓発
- (3) 訪問看護ステーション運営
- (4) 重度障害者等リハビリテーション支援事業の実施

3. 在宅医療への取り組み

- (1) 主治医一副主任医調整委員会開催
- (2) 江東区医師会病診救急ネットワークの啓発
- (3) 江東区在宅医療相談窓口の開設（江東区医師会訪問看護ステーション内）
- (4) 小児在宅医療推進委員会（講演会、研修会）の開催
- (5) 江東区在宅医療シンポジウムへの参加、協力

4. 認知症への取り組み

- (1) 認知症初期集中支援事業への認知症サポート医派遣、協力
- (2) 認知症サポート医取得のための助成事業
- (3) 江東区認知症検診実施

5. 難病への取り組み

- (1) 江東区保健所難病相談事業への協力
- (2) 江東区医師会難病療養相談事業の実施
- (3) 在宅難病患者訪問事業の実施

6. 障害者への取り組み

- (1) 障害者 総合支援法に基づく江東区介護給付等の支給に関する審査会への委員の派遣、医師意見書記載に係わる協力医への協力要請

認知症疾患医療センターの取組

地域包括ケアシステムの取組

認知症疾患医療センターは地域の医療機関同士及び医療と介護の連携を強化し、認知症の人が地域で安心して生活を継続できるように支援体制を構築する役割を担っています。

【認知症疾患医療センター 3つの柱】

- ・認知症専門医療の提供
- ・地域連携の推進
- ・人材育成

- 認知症専門医・専門看護師・臨床心理士・精神保健福祉士等の多職種構成
- 認知症専門の相談窓口(受診・入院に関する相談、外来受診予約)
- 江戸川区・墨田区の認知症疾患医療センターとの連携
- 会議・研修・講演会などの主催や講師派遣協力
- 認知症の人と家族向けの地域活動

認知症疾患医療センターの取組

【会議】

- ①認知症疾患医療センター連携協議会の開催(出席者:医師会、行政担当者、地域包括支援センター)
- ②認知症初期集中支援チーム情報交換会の開催(出席者:行政担当者)

【研修】

- ①医師・看護師・介護従事者向け認知症研修の開催(江東区・江戸川区・墨田区対象)

【家族・介護者・地域住民向け】

- ①順天堂ひまわりカフェオンライン交流会(認知症カフェ)
- ②臨床美術活動「HIMAWARI ART CLUB」(木場公園・KIBACO) <<予定>>

課題と課題解決に向けた取組

【課題】

- ①若年性認知症の診断後支援
- ②当院受診患者の家族介護者向け交流会が中止している
- ③地域での認知症支援に関する状況把握が薄い

【課題解決に向けた取組】

- ①若年性認知症総合支援センターとの連携
- ②家族も参加可能な外部活動開催を検討
- ③認知症地域支援推進員との連携

多職種連携の取組

事例 3

(公社)東京都理学療法士協会江東区支部

令和4年度実績報告

並びに令和5年度事業計画

令和4年度実績

- ☆江東区ウォーキング講座(5月・10月)
- ☆体力測定会 区内4か所派遣
- ☆地域ケア個別会議参加 区内3か所
- ☆江東区民祭りでのリハビリ相談
- ☆公開講座 転倒予防 (2月)
- ☆地域の集まりへの派遣(体力測定と生活相談) 区内3か所
- ☆Kotc 生き粋体操についての講座



令和5年度事業計画

- ☆地域ケア個別会議への参加
 - ・今後も、リハ専門職として、「生活」を見る視点で参加。
- ☆体力測定会での専門職としてのアドバイス (5月・10月予定)
 - ・測定データをもとに個人へ生活を踏まえてのアドバイス。
- ☆江東区民まつりへの参加 : 10月
 - ・福祉部のブースで「KOTO生き粋体操」の指導や体力測定のお手伝いをさせて頂く予定
- ☆公開講座 : 11月(予定)
 - テーマ : 転倒予防とKOTO生き粋体操の効果について(仮) ※詳細は未定
- ☆ウォーキング講座

助け合いのまちづくりを進めよう！ 江東区助け合い活動連絡会通信 No.19

発行：江東区助け合い活動連絡会 発行日：2023年1月5日
連絡先：江東区社会福祉協議会 地域福祉推進課（電話 03-3640-1200）

謹賀新年 皆様、お元気に新年をお迎えのことと思います。第8波の新型コロナウイルスの感染拡大が続いていて、本年もウィズコロナの活動になりますが、区・社協の事業と連携し、高齢者などが住み馴れた地域で安心して暮らしていくことができる助け合い活動の普及に取り組んでいきます。本年も皆様のご協力、よろしくお願ひいたします。以下、昨年 9/26 以降の活動報告と当面の活動計画のご案内です。ご一読ください。

地域がつながる～地域活動で人・地域がつながる 第8回江東区地域福祉フォーラムの報告



江東区地域福祉フォーラムは、助け合い活動連絡会・江東区・江東区社会福祉協議会の共催で毎年秋に開催しています。8回目を迎えた今回は11月2日（金）に江東区文化センターで「地域がつながる～地域活動で人・地域がつながる」をテーマに開催し、基調講演と事例報告、パネルディスカッションを行い、84人が参加しました。

最初に連絡会の渡辺代表、江東区の武越福祉部長、社協の伊東事務局長が開会挨拶。基調講演は千葉県で活動しているNPO法人たすけあいの会ふきのとうの國生美南子さんで、地域の関係性（つながり）をつくっていくための課題について取り組み事例も含め報告しました。

事例報告は①多文化・国際交流のまちづくりを中大講師・みんなで多文化交流 in 大島の中野玲子さん、②フードバンク江東の活動を水口健さん、③多世代交流のたまり場づくりをNPO どんぐりの尾辻美枝さん、④こうとうまち美化応援隊の活動を区環境保全課の西村係長が行いました。

休憩の後、國生さんの進行で事例報告者によるパネルディスカッションが行われ、最後に質疑応答を行い、閉会しました。参加者から地域のつながりの大切さ、つながるための創意工夫（作戦変更）が参考になったとのご意見が寄せられました。

助け合い活動連絡会 第2回定例連絡会の報告

9月26日（月）に高齢者総合福祉センターで連絡会の第2回定例連絡会を開催し32人が参加しました。最初に連絡会から6/29の第1回定例連絡会、7/12の吉野義道さん・渡辺恵司さんを囲む会、7/29の第13回研究会、9/1・9/2の助け合いサミット in 東京などの報告を行い、続いて区・社協からの情報提供、参加団体からの活動紹介をしていただきました。

助け合い活動連絡会 第14回研究会の報告

12月15日（木）に高齢者総合福祉センターで連絡会の第14回研究会を開催し40人が参加しました。テーマは「子どもの貧困支援・取り組みと課題」で、基調講演と地域で子どもの学習支援などに取り組んでいる5団体の事例報告が行われました。講師はNPO法人キッズドアの松見幸太郎氏でキッズドアの紹介に続いて、①経済的に困難な状況にある家庭の現状、②貧困の連鎖を断ち切る学習支援、③子どもの居場所の必要性、④ひとり親や経済的に困難な家庭への支援の重要性、⑤社会的インパクト評価に



ついて講演しました。事例報告は(1)一般社団法人 Buddies 代表の加藤さん、(2)NPO 法人らいおんはーと理事長の及川さん、(3)一般社団法人MUCHU代表の佐田元さん、(4)NPO 法人 寺子屋みなてらす代表の三宅さん、(5)NPO 法人トッピングイースト理事長の清宮さんが行いました。

子どもの貧困支援においては、貧困・格差の連鎖をどう断ち切っていくか、子どもに寄り添う居場所づくりの重要性を再認識させられた研究会でした。

多世代交流の里 砂町よっちゃん家の活動報告

多世代交流の里 砂町よっちゃん家はこの間、コロナ禍で一部予約制や人数制限をするなど活動の制限を余儀なくされていますが、感染予防策をとって、子ども食堂やご近所ミニデイ、学習支援、初心者向けスマホ教室、絵手紙教室などに取り組んでいます。

また、昨年から近くの保育園の園児が定期的に遊びに来ていて、9/27には園長らに引率された10人ほどの園児たちが庭先でサンマ焼きを楽しみました。当日は連絡会の世話人が炭起こしなどのお手伝いをしました。



グランドゴルフ in 大島 第4回大会の報告

11月18日(金)に第4回大会を開催し参加人数は前回から5人増え、男性15人・女性15人が参加しました。男子の部・女子の部・総合成績のベスト3決まり、今回初めて女性が総合優勝しました。当日は区長寿応援課の職員が、来年3月に開催される墨田区・足立区・葛飾区・江東区の城東ブロック大会に向けた研修に来て、大会開催時に審判員が不足した時の協力要請を受けました。

大島での次回大会は3月10日(金)に予定しています。関心のある方はご参加ください。

大島四丁目公園 花壇ブロック増設の支援

12月21日(月)に開設から2年目を迎えた大島四丁目公園内のコミュニティガーデンの花壇ブロック増設作業が行われ、連絡会の世話人らがお手伝いに駆けつけました。作業には大島四丁目町会・長寿ひまわり園芸クラブの皆さんを中心に20人ほどが参加し、計84個のブロックを増設しました。作業終了後、町会会館で手作りのお弁当をいただきながら交流しました。

助け合い活動連絡会では地域のつながり強化のために、砂町よっちゃん家やコミュニティガーデンなどの花壇活動のお手伝いをしています。花壇活動に関心のある方はご参加ください。



アンケート調査『2022年度地域活動団体現況調査』にご協力を

3月8日(水)午後、江東区文化センターで“これからの地域活動に何が必要か”を意見交換する地域活動団体交流集会を開催します。交流集会の開催要項は別途ご案内しますが、事前準備として『2022年度地域活動団体現況調査』を実施中です。実りある集会にするために、多くの地域活動団体の皆様にご協力いただきたく、まだ回答していない皆様のご協力をお願いします。

アンケートの回答は URL <https://forms.gle/EhyTXGCTw59Qi8Vb6> から入力できます。用紙記入で FAX・E-mail 回答の場合は江東区社会福祉協議会地域福祉推進課までお願いします。

助け合い活動連絡会 第3回定例連絡会のご案内

下記にて助け合い活動連絡会の 第3回定例連絡会を開催しますので、皆様ご参集ください。

<日時> 2023年3月22日(水) 13:30~15:00 <会場> 江東区高齢者総合福祉センター

<内容> ①連絡会の活動報告 ②区・社協からの情報提供 ③2023年度活動計画案の検討

以上

令和5年3月14日
江東区障害者施策課

失語症者向け意思疎通支援者派遣事業に関するご協力をお願い

日頃より、本区障害福祉行政にご理解、ご協力を賜り、お礼申し上げます。

このたび、令和5年度より、失語症者向け意思疎通支援者派遣事業を開始することとなりました。

本事業は、失語症の方が外出する際、意思疎通支援者を派遣してコミュニケーション支援を行い、失語症の方お一人での外出を支援するものです。

しかしながら、区では、本事業を必要とする失語症者の把握ができていない状況です。そこで、事業の周知にあたっては、失語症の方と接する機会が多い医療・福祉の専門職の皆様にご協力いただくことにより、効果的な対象者把握と事業案内を行っていきたいと考えております。

つきましては、取り急ぎ、この機会をお借りして事業のご案内とご協力をお願いをさせていただきます。準備が整い次第、改めて正式にご協力の依頼をさせていただきます。たく存じます。

失語症の方やそのご家族が心豊かな生活を送れる地域づくりにご理解、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

記

事業名	失語症者向け意思疎通支援者派遣事業
開始時期	令和5年11月頃 開始予定
事業概要	裏面「失語症者向け意思疎通支援者派遣事業のご案内」をご参照ください。

失語症者向け意思疎通支援者派遣事業(案)

事業概要

1 支援内容

- 失語症により会話支援が必要な人に、意思疎通支援者を派遣して、外出時の買い物や通院等を支援します。
- 失語症友の会や会話サロンなどに意思疎通支援者を派遣して、発言や内容理解の援助をします。

2 利用できる方

- 江東区在住の失語症のある方
- ※ 利用には、登録が必要です。
- ※ 身体障害者手帳、または医師の診断書により失語症であることを確認します。

3 利用できる時間

- 平日 8:30~17:00
- ※ 1日あたり、最大で連続6時間までです。

4 利用料

- 無料
- ※ 外出同行時の意思疎通支援者の交通費等は利用者負担になります。

5 開始時期

- 令和5年11月頃 開始予定

6 利用できる場面

個人利用への派遣

買い物の場面



公共交通機関の利用時



公共施設の窓口



病院や薬局にて



※ その他、社会生活で必要な場面に利用できます

団体への派遣

失語症の方の
会話サロンにて



※ 団体利用には、事前に区の審査・登録が必要です。

失語症者向け意思疎通支援者派遣事業 ご利用の流れ

ステップ 1

登録

区役所に「登録申請書」を提出

- ※ 登録時、身障手帳や診断書等により失語症であることの確認をします。

言語聴覚士との面談

- ※ 失語症の程度や特徴を確認します。
- ※ 派遣事業の説明を行います。

区役所から「登録決定通知書」が届く



ステップ 2

申請

区役所に「利用申請書」を提出

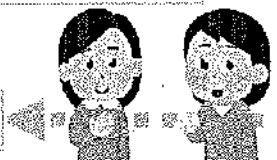
言語聴覚士と面談の上、
派遣内容の確認を行います。

- ※ 派遣内容などの基本事項を確認します。
- ※ 支援内容の説明を行います。

区役所で
支援者を決定

区役所から「利用決定通知書」が届く

派遣実施



令和3年度地域課題検討型地域ケア会議

概要

(深川南・城東北・城東南)

深川南地区 地域課題検討型地域ケア会議報告書

令和 4年 11月 11日

(1) 参加者・議題

日時	参加者					議題（個別型の地域課題から1つ選択）	
令和4年7月28日 14:00~15:30	長寿サポートセンター		4	包括推進係	3	日本語でのコミュニケーションをとることが困難な利用者への対応について	
	民生委員	0	看護師	0	その他区役所		
開催方法	町会・自治会	1	薬剤師	0	保護第一課		1
<input type="checkbox"/> オンライン <input checked="" type="checkbox"/> 対面	地域福祉 コーディネーター	1	栄養士	0			
	その他社協	1	主任ケアマネ	0	江東国際交流協会		1
	あんしん江東	0	介護事業者	0	JKK亀戸窓口センター		1
	有限会社	0	ケアマネ	3			

(2) 議論のまとめ

①課題	②地域での 解決(○ ×)	③地域での対応方法 (②が○の場合)	④全体会上げたいこと
日本語でのコミュニケーションが困難な方への支援について、通訳が見つからないと問題解決に時間を要する。	△	スマホアプリ等のツールを一時的に利用することは可能。	通訳を利用したい人と支援することが可能な人をつなぐネットワーク作りの確立について。
1 多言語対応可能な事業所等の情報がまとまっていない。	×		
2 通訳ができる区民との連携が図られていない。	×		

城東北地区 地域課題検討型地域ケア会議報告書

令和 4年 11月 11日

(1) 参加者・議題

日時	参加者				議題（個別型の地域課題から1つ選択）	
令和4年8月10日 15:00～16:00	長寿サポートセンター		6	包括推進係	3	
	民生委員	0	看護師	0	その他区役所	
開催方法	町会・自治会	0	薬剤師	0	長寿応援課	1
	地域福祉 コーディネーター	2	栄養士	0		
<input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> 対面	その他社協	0	主任ケアマネ	0		
	あんしん江東	0	介護事業者	0		
ハンディキャップ（車いす利用者、外国人、精神疾患など）のある人の居場所づくりについて						

(2) 議論のまとめ

	①課題	②地域での 解決(○ ×)	③地域での対応方法 (②が○の場合)	④全体会上げたいこと
3	固定のメンバーだけでなく、どんな人でも参加できる居場所が少ない。	△	地域に開かれた活動を検討。	誰でも気軽に集まることのできる居場所づくりやそこに参加するための移動支援の拡充
4	ハンディキャップのある人がサロン活動等に参加するためには、移動支援が必要となる。	×		
5, 6	障害や外国の文化などを地域住民が理解し、サポートできる体制が必要。	×		

城東南地区 地域課題検討型地域ケア会議報告書

令和4年3月24日

(1) 参加者・議題

日時	参加者				議題（個別型の地域課題から1つ選択）	
令和4年3月4日 16:00～17:10	長寿サポートセンター		7	包括推進係	3	
	民生委員	0	看護師	0	その他区役所	
開催方法	町会・自治会	1	薬剤師	0	清掃リサイクル課	1
■オンライン	地域福祉 コーディネーター	2	栄養士	0	経済的に困窮している方（貧困層）の食事 問題について ～江東区版フードバンク立ち上げの社会資 源の必要性～	
	その他社協	0	主任ケアマネ	1		
■対面	あんしん江東	0	介護事業者	0		
	ハイブリッド方式	有限会社	1			

(2) 議論のまとめ

①課題	②地域での 解決(○×)	③地域での対応方法 (②が○の場合)	④全体会上げたいこと
回収した食糧を保管する場所、運搬する人や車 などの確保が必要。	○	NPO法人やボランティア等の活用	市民活動団体等と区で取り組む協働事業の 活用について。
フードバンクを知らない区民へ周知する。	○	自治会等との連携	
7 食品ロスに取り組んでいる機関のネットワーク の構築。	×		

課題・提案と区の実組状況等（令和3年度地域課題検討型地域ケア会議）

連番	地域課題	提案	照会先	区の実する現状・課題	実施可否	課題に対する区の実組状況等
1	介護サービス事業者が日本語でのコミュニケーションをとることが困難な利用者の対応をする際に、多言語対応可能な事業所等の情報がまとまっていないため、対応や調整に時間を要する。	区内の介護事業者等の情報をインターネット上で提供している「介護事業者情報検索システム」において、多言語対応可能な事業所を検索できるようにしてほしい。	介護保険課	「介護事業者情報検索システム」について、利用者にとって必要な情報をすべて網羅しているわけではなく、利用に時間を要する場合がある。また、検索システムの中で、必要な情報を更新する頻度が事業者によって差があり、施設の空き状況などが最新のものとして反映されていないなど、正確な情報を提供できていない面がある。	実施予定	委託先に確認したところ、事業者検索の中で多言語対応可能かどうかの項目は追加することができるというところのため、項目を追加したうえで、ケア倶楽部で事業所に対応可否の更新を促したり、事業者に向けた年一回の一斉調査の際に、対応可否について確認するなど、掲載までの手順について今後検討していく予定である。
2	日本語でのコミュニケーションをとることが困難な方への支援について、通訳の人が見つからないと問題解決に時間を要する。中国語などの通訳をすることができる区民は多くいるが、通訳ボランティアを探すことが難しい。	区民が主体的に通訳ボランティア活動に参加できるよう支援し、ボランティアをしたくない区民と必要としている区民とのマッチング機能を強化してほしい。	社会福祉協議会 地域福祉推進課	・日本語でのコミュニケーションをとることが困難な方についてのご相談をいただくことがない。	実施困難	・区内にはボランティア登録をしている方が2000名（70代多）を超えており、登録者に向け通訳ボランティアを依頼することは可能。しかし、依頼者のタイミングで見つかるかどうかは分からない。 ・今現在、日本語でのコミュニケーションをとることが困難な方の中には、若い世代（家族）の力を借りて生活している方も多いとのこと。今後、家族より意向があれば、困りごとの相談ができるようなコミュニティを新たに立ち上げられるよう後方支援をおこなう。
			社会福祉協議会 ボランティアセンター	・日本語でのコミュニケーションをとることが困難な方についてのボランティア依頼は時々ある。	実施済	・通訳依頼があった場合は、個人ボランティアまたは、登録団体を紹介している。 ・江東ボランティア・センターへ個人登録をしている方は約2000名（※通訳以外のボランティアを含む）おり、登録者へ通訳ボランティアを依頼することは可能。しかし、依頼者のタイミングで見つかるかどうかは分からない。 ・英語、中国語等のメジャーな言語は、内容によっては対応してくれる。 ・通訳ボランティアが必要な際には、当センターにご相談いただきたい。

連番	地域課題	提案	照会先	区の考える現状・課題	実施可否	課題に対する区の実施状況等
3	ハンディキャップのある人も参加しやすい居場所づくりが必要である。	固定のメンバーだけでなく、どんな人でも参加できる居場所がほしい。	社会福祉協議会 地域福祉推進課	<p>社協では交流の場づくりとして、住民主体の居場所である「ふれあい・いきいきサロン」および「多機能型地域福祉活動拠点（多世代交流の居場所）」への支援と、社協主催で「社協カフェ」を行っている。</p> <p>「ふれあい・いきいきサロン」では、どなたでも参加できることが登録要件であるが、会場の都合（広さや仕様）・感染症対策として参加者の受入に制限が生じている。</p> <p>「多機能型地域福祉活動拠点（多世代交流の居場所）」では、定期的に活動できる会場や担い手の確保、活動資金が課題となっている。</p> <p>また、「社協カフェ」は区内4箇所で開催しているが、より広く周知を図ることが必要となっている。</p>	検討・調査中	<p>「ふれあい・いきいきサロン」においては新規サロンがより立ち上げやすくなるよう登録要件の見直しを図り、「多機能型地域福祉活動拠点（多世代交流の居場所）」においては現在の活動の周知を進めながら、活動場所の提供・協力についても周知を図る等、より住民が活動しやすい環境を整えていく。</p> <p>また、社協主催の居場所については、「社協カフェ」開催回数を見直す他、今後「地域拠点」が設置された際には交流の場を設けることを予定していく。</p>
4	ハンディキャップのある方がサロン活動等に参加したいとの希望があるとき、移動手段の問題から利用できないことがある。交流の場に参加したい区民が誰でも行けるような移動支援が必要である。	サロン活動に対して行っている活動助成において、移動支援を追加してほしい。	社会福祉協議会 地域福祉推進課	<p>「ふれあい・いきいきサロン」は住民主体の活動であるため、住民間のつきあいにより従前からの参加者がひとりでの参加が困難となった場合等、サロンによっては個々のケースに合わせて自主的に送迎を行っている。</p> <p>サロンより、コロナ禍以降、外出自粛により身体機能が低下した参加がいることも聞かれるが、サロンの担い手側の都合や高齢化といった事情も加わり、積極的に移動支援は行われていない。</p>	実施困難	<p>ふれあい・いきいきサロンは住民の自主的な活動のため、仮に移動支援の助成を設けても、移動支援に協力できるサロンが出現する可能性は低く、その機能を求めることは困難と考える。</p> <p>しかしながら、このような課題があることについてサロン側へ理解を促す、また身近にサロンが立ち上げやすくなるように登録要件の見直しを図る等、対応可能なことから取り組んで行く。</p>
		移動支援事業の周知促進をしてほしい	障害者支援課	<p>障害者サービスとしての移動支援は実施している。</p> <p>対象者は、身体（肢体不自由1・2級）・知的・精神障害者（児）・難病患者等である。障害者については、「障害者福祉のてびき」や区ホームページで周知しているところである。</p>	実施済	<p>障害者（児）を対象とした移動支援事業は実施済みであり、周知されている状況である。</p>

連番	地域課題	提案	照会先	区の考える現状・課題	実施可否	課題に対する区の実施状況等
5	誰でも気軽に集まることができる「居場所」に、障害者の方が安心して参加できるように区民が障害に対する理解を深めることが必要である。	区民が障害それぞれの特性や当事者が抱える問題等について理解を深め、地域全体が障害者をサポートする体制づくりをしてほしい。	障害者施策課	障害者が地域で安心して暮らすためには、障害への理解が社会全体に広がることが不可欠である。現在、下記のとおり広報活動の充実等により障害への理解を深める取り組みを行っている。今後も引き続き、様々な手段を通じて障害理解を深めていく。	実施済	令和4年度、障害者施策課では、障害への理解を深めるため以下の取り組みを行っている。 1. 障害者週間における取り組み (1) 障害者福祉大会（12月3日） (2) 区立図書館における展示（11月19日から12月15日） (3) 区公式YouTubeにおける障害者施設・団体活動紹介動画公開（12月3日公開） (4) バーチャル美術館展示 区内障害者施設利用者作品（12月1日から12月20日、1月5日から1月23日） 区立小・中学校特別支援学級児童生徒作品（2月7日から3月31日） 2. リーフレット等作成・配布 (1) 手話を知ろう (2) 手話言語条例周知リーフレット「誰もが安心して心豊かに暮らせるまちへ」 (3) 小学5年生向けデジタル版リーフレット「広げようこころのバリアフリー」 (4) コミュニケーションハンドブック 3. その他取り組み (1) 区報コラム掲載（年6回偶数月） 第1～2回「障害者差別解消法」 第3～6回「発達障害」 (2) 手話言語条例紹介動画公開（通年）
6	外国籍の区民も気軽に集まることのできる居場所づくりのために、区民が多文化共生に対する意識を高めることが必要である。	日本国籍の区民が外国籍の区民への理解を深め、地域全体がサポートできる体制づくりをしてほしい。	地域振興課	近年、江東区に居住する外国籍区民は約3万人で推移しており、多様な価値観を持って生活している。外国籍区民への情報発信などの日常生活や日本国籍区民との相互理解などの多文化共生の意識、外国籍区民と連携した地域活動やコミュニティ・グループなどの地域との交流における課題などがある。	実施予定	区民が国籍や人種・文化の違いを問わず、お互いを尊重し、共に地域の一員として安心して暮らすことのできる多文化共生社会の実現を推進するため、令和4年度に「江東区多文化共生推進基本指針」を策定する予定である。 今後は、基本指針に基づき取り組んでいき、江東区民まつり中央まつりでの「国際交流友好の広場」や例年3月に開催する「国際交流のつどい」の既存のイベントを通じて、相互理解を深め、啓発を行っていく。

連番	地域課題	提案	照会先	区の考える現状・課題	実施可否	課題に対する区の実施状況等
7	<p>これまで、南砂長寿サポートセンターとフードバンク江東が中心となり、フードバンクの立ち上げやフードパントリー活動の実施をしてきた。活動を継続していく上で、関係機関の協力は不可欠であり、区内のどの地域でも活動ができるよう体制を整備する必要がある。</p>	<p>関係機関で検討を進めているフードパントリー事業について、事業を推進してほしい。</p>	<p>清掃リサイクル課</p>	<p>江東区の家から排出される生ごみのうち、食品ロスは30パーセントを占めており、その量は6,000tと推計されている。その食品ロスを削減することにより、廃棄するために発生するCO2を減らし「ゼロカーボンシティ江東区」の実現を目指すため、家庭で余っている食品（まだ食べられるのに捨ててしまう食品＝食品ロス）を回収し、必要としている人へ提供する事業、「フードドライブ」を実施している。</p>	<p>実施済</p>	<p>【現在の取り組み】 清掃リサイクル課では、上記の課題を解決するためにフードドライブを実施している。 現在は清掃リサイクル課窓口と、有明にある「無印良品東京有明」の店舗で常設回収を行っている。 集めた食品は、清掃リサイクル課職員が回収に伺い、防災センター6階の執務室内で保管し、2か月に1度の割合で子ども家庭支援課を通じて、希望する区内子ども食堂（約10か所）へ提供している。 集めた食材のうち、比較的消費期限の短いもの、子ども食堂に適さないものなどは、職員の手で選別をし、フードバンク団体である「セカンドハーベスト・ジャパン」（台東区）へ提供している。 令和5年1月からは、各文化センター・スポーツセンター15か所で常設回収を実施し、さらなる食品ロス削減を推進する。こちらの窓口で集めた食品は、月に一度委託業者が回収し、「セカンドハーベスト・ジャパン」へ提供することとしている。</p> <p>【課題】 清掃リサイクル課は回収した食品は、区内は子ども食堂運営団体への提供のみであり、それ以外は区外フードバンク団体へ提供している。すべてを区内の食品を必要としている方に提供できることが理想であるが、区内に全量を受け入れられるフードバンク団体がないことが課題である。 集めた食品を十分に保管・仕分けできる場所と、様々な理由により食品を必要としている人へ適切に提供できる専門的スキル（社会福祉士等）を持つ人材が常駐するフードバンクが区内に設置されることを望んでいる。</p>
			<p>社会福祉協議会 地域福祉推進課</p>	<p>社会福祉協議会では、一時的に困窮した方に対し、緊急対応用に食料を購入して支援を行ってきたが、周知を図っていないため、ニーズへの対応は不十分な状況にある。</p>	<p>検討・調査中</p>	<p>南砂長寿サポートセンターとフードバンク江東の活動については認識しており、住民有志から協力の声も上がっていることから、清掃リサイクル課と連携を図り、実施に向け検討を進めていく。</p>

2022 年度地域活動団体现況調査報告書

＜実施団体＞ 江東区助け合い活動連絡会 ＜調査期間＞ 2022 年 12 月～2023 年 1 月
＜調査協力＞ 江東区福祉部長寿応援課・江東区社会福祉協議会地域福祉推進課

はじめに

江東区助け合い活動連絡会では、江東区長寿応援課・江東区社会福祉協議会の協力を得て、3月8日に地域活動交流集会を開催します。この集会に向けて地域団体の活動状況を確認するため、2022年12月に地域活動団体现況調査を実施しました。以下、調査結果の報告です。

同様の調査は、当会が協力して作成した『江東区版 あなたもできる助け合い～地域・ボランティア活動～』の交流会（2018年12月17日）、同冊子のコミュニティサイト「テトテ」立ち上げの際の交流会（2019年12月6日）でも実施しています。

今回の調査では、過去2回のアンケート回収数（2018：87通、2019：33通）を大きく上回る130団体から回答を得ました。

活動分野別回答数

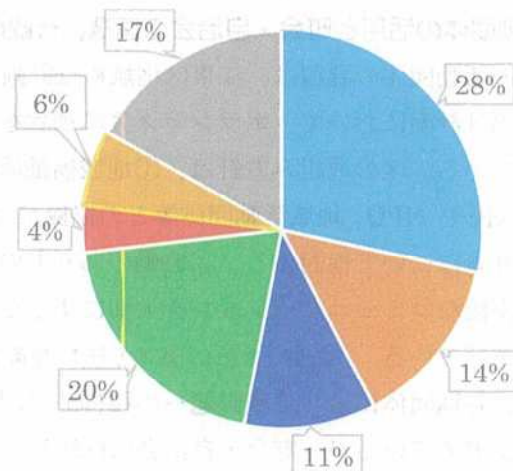
活動分野は、以下の7項目に分け、原則として回答者のチェックのままとした。

● 高齢者支援（含サロン・居場所づくり）	37
● 子育て支援（含サロン・居場所づくり）	18
● 障がい者支援（含サロン・居場所づくり）	14
● 多世代支援（含サロン・居場所づくり）	8
● まちづくり（みどり・清掃）	26
● まちづくり（国際交流）	5
● その他	22

「高齢者支援」では、助け合いやサロンだけでなく、折り紙、運動、歌、囲碁、踊りなどを通じた活動も含まれている。

「子育て支援」では、育児相談、学習支援、おもちゃ修理などの団体も含まれている。

国際交流を「まちづくり」の一つとして取り上げた。「その他」には、2町会、1老人会からの回答も含めた。



アンケート調査の結果から見えること

各団体には、活動上の課題や現状に関する意見を求めました。これらの回答から次のような現状が見えています。

1. 現状の課題

活動継続性の問題

アンケート回答者の50%以上が70歳代という状況である。2町会、1老人会を含む半数以上の68団体で「団体メンバーの高齢化」を課題とし、次いで44団体で「後継者の育成が困難」を挙

げている。多くの団体で世代交代・人材育成が大きな課題になっている。また、交流会に関する設問では、39 団体が会を定期的に開催してほしいとし、86 団体が他団体の情報が知りたいという結果であった。

各団体では、活動参加者に関して団体の継続性に不安を感じており、それぞれの団体が会員の固定化・減少に直面していると思われる。

地域福祉計画でも、町会・自治会の加入率低下、ボランティア参加者が少ないと分析しており、現状のままでは、地域コミュニティ活動の停滞を防ぐことは困難であることを確認できる。

活動場所確保の問題

39 団体が「活動場所の確保が困難」であるとしている。自由意見欄でも、「活動場所の確保の困難さが解消されない」、「長期的、安定的に使用できる場所を確保要望」、「区の施設の無料利用」、「区民館会場予約のインターネット抽選導入」、「手頃な価格で事務所の提供要望」など活動場所の確保や施設の無料利用などの要望があった。多くの団体では活動したいが場所の確保で困っている実態が明らかである。

活動資金確保の問題

活動上の課題について 35 団体が「活動運営費の確保が困難」であるとしている。自由意見欄でも、「活動運営費の助成を受けやすくしてほしい」「江東区施設の利用料値上げが予定されている中、助成金額が変わらない」「NPO 法人化しても財政基盤が弱くもろい事が活動する上での不安定材料」「広報の郵送費が負担」などの意見が述べられ、財源で困っている実態もある。

2. 活動団体の活用と町会・自治会の連携、行政の役割

以上の活動団体の課題は、江東区地域福祉計画の実効的な推進と関連している。

地域福祉計画において、ボランティア参加者を増やして地域での互助体制を整備することを目的としている。区の実施方針は、①地域福祉活動の立上げ支援、地域活動団体のネットワーク化、②区民や NPO、地域活動団体等との協働がより活性化するように、庁内や関係者も交えて協働のあり方について検討する、③協働のあり方の検討に基づき中間支援組織を設置、④地域住民と区の密接なコミュニケーションを大切にするため、区と区民等が意見交換できる場や機会の設定を、挙げている。（「施策と取組」「基本方針 I 施策 3 地域と行政のつながりをつくる」）

なお、各種団体には、地域課題への積極的な関わり、団体同士の連携強、公的機関との連携強化などを求めているが、町会・自治会には触れていない。

3. 地域活動で人・地域がつながる

各種活動団体を継続的に活動し得る環境を整備するには、施設の容易な利用、助成支出を含めて対応する体制が必要である。そのためには実効ある『中間支援組織』とすることが大切である。

コミュニティを再構築するには、比較的に活力のある各種地域活動に注目し、多くの助成金を配布している町会・自治会を立て直して、様々な志向を持つ各種活動団体と連携させ、総体として地域を活性化することが必要である。

設問別回答

1.回答者の分布

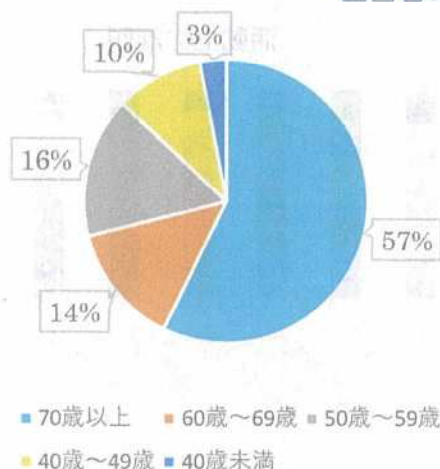
各団体で回答いただいた方の年齢は、多い順から

70歳以上	74人	57%
50歳～59歳	21人	16%
60歳～69歳	18人	14%
40歳～49歳	13人	10%
40歳未満	4人	3%

となりました。

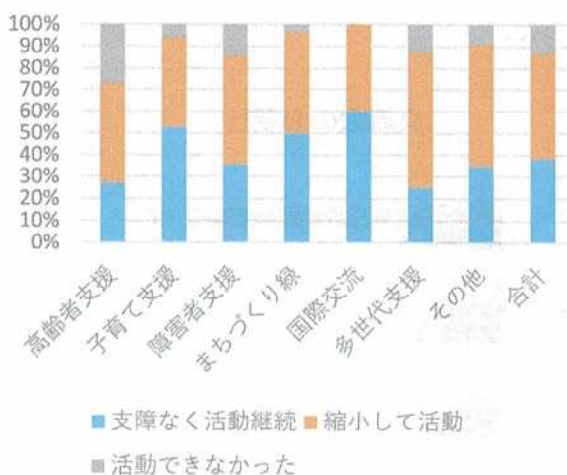
男女別は、男 51人 女 79人でした。

回答者の年齢



2.コロナ禍での活動状況

コロナ禍での活動状況



この3年、新型コロナウイルス感染症の対応として、各団体とも活動を自粛せざるを得ない状況になりました。

全体としては、17団体が活動休止状態、63団体が縮小して活動せざるを得ませんでした。それぞれの分野ごとにその比率は変化しています。

活動休止率の高いものは「高齢者支援」で、支障なく活動を継続した分野は、「子育て支援」、「まちづくり みどり・美化」「まちづくり国際交流」などです。

3 活動に取り組む上での課題

それぞれの団体が活動をとりくむ上での課題については、以下の選択肢を用意しました。

1 活動場所の確保が困難	39
2 団体メンバーの高齢化（新規会員確保困難）	68
3 後継者の育成が困難	44
4 活動運営費の確保が困難	35
5 他団体との交流ができない	18
6 その他（自由記載）	15

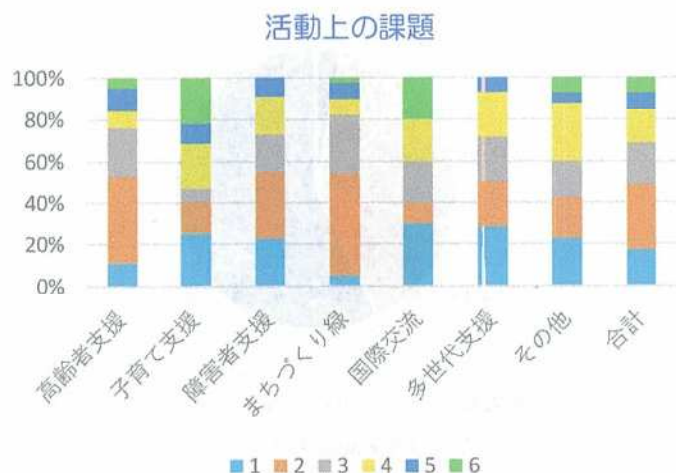
「その他」を選択された団体の意見のうち問題はないとする意見が3団体にとどまりました。

「高齢者支援」では、「活動メンバーによって、目標達成の意欲にバラつきがある」とか「いか

活動上の課題 全体



に楽しんでいただけるかを考えるが、思い浮かばない時など時間がかかる」という悩みもありました。



「子育て支援」では、「相談利用者への広報」、「利用者の増加に伴うボランティア不足」、選択肢に加えて「活動運営費の確保が困難」2団体、「他の団体と交流機会」を望む意見がありました。

それぞれの分野ごとの違いを見てみると、「高齢者支援」、「障がい者支援」、「まちづくり(みどり)」で、参加者の高齢化への課題が多くなっており、「子育て支援」、「まちづくり国際

交流」、「その他」で、活動運営費の確保が困難であるとする比率が高くなっています。

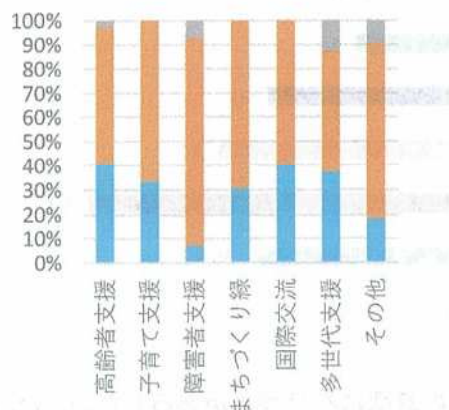
なお、自治会、老人会からは、メンバーの高齢化、後継者育成困難という課題を挙げており、新規住民への誘致が大切という意見が出ていました。

4 活動団体交流会の必要性

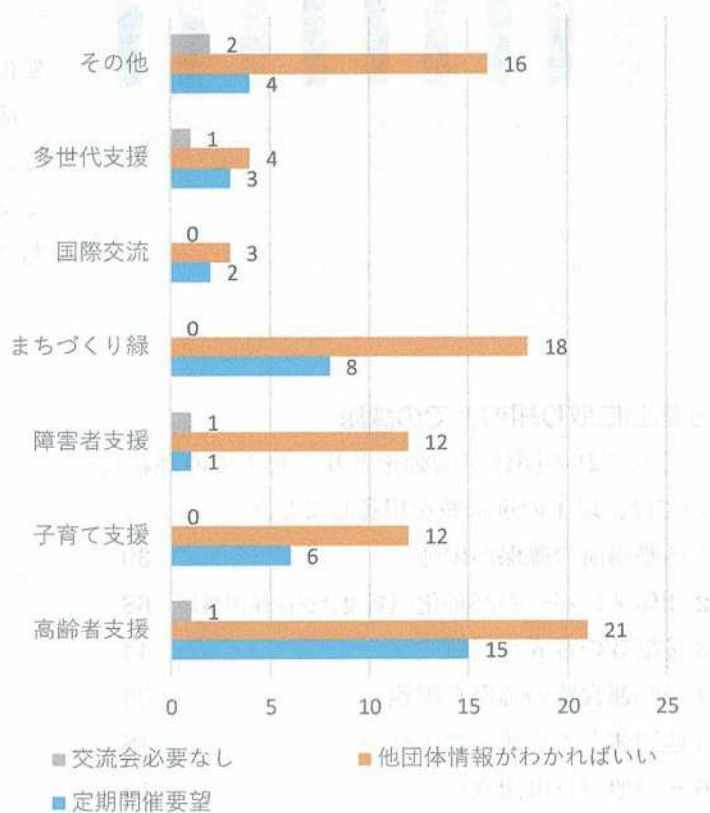
江東区助け合い活動連絡会では、活動団体の交流会は必要と考えています。そこで、以下の設問をしました。数字は全体の選択数。

定期的で開催してほしい 39
 他団体の情報がわかれば良い 86
 交流会などは必要ない 5

活動分野別では、「高齢者支援」、「子育て支援」、「まちづくり」「多世代支援」の団体で、定期的な開催を求める比率が高くなっています。



交流会の必要性



5 活動を行う中で感じていること

活動を行う中で感じていること希望することについて自由記載していただきました。

【高齢者支援】

- "地域福祉社会の構築を考えた場合、現在行っている認知症カフェやご近所ミニデイを通じて感じること。
 - ① 世代によって地域福祉という概念の捉え方に差がある。
 - ② 活動する側のスキルが求められる。
 - ③ 経験豊富な高齢者の地域社会に対する潜在能力（知恵）の高さ。
 - ④ 何よりも、取り組んでいる事の「意識の高さ」等が求められるのではないかと、スタッフの必須条件としました。
- 歳を重ねるにつれて、物忘れ、歩行困難の方が多くなり、自宅から会場までの行き来に助っ人が必要な方が出てきている（集合住宅のエレベーターで、1階に降りるだけで2〜3分）。
- 活動室（ボランティア室）が毎回は使えず、心ならずも休みにしている。畳の部屋、貸して下さる所ありませんか（8畳でも）？無料で もともと文化センター4階で始め30年前（畳の部屋）。
- マンション内で日常の困りごとを支援していた方がなくなったり、施設へ入居したりで、助け合いの利用が減っています。また、住民同士がもっと助け合いができるように、お互いを知るためのイベントなどを行っていましたが、コロナにより一部のイベントしかできなくなっています。また、最近は管理組合の一部のメンバーによって、施設や器材利用に異論が出て締め付けがきつくなり、活動がやりにくくなっています。
- 居住者の高齢化に伴うニーズの変化に対応した活動、マンネリ化を防ぐ活動の創意工夫が大切
- 歩くことが出来れば高齢者に最適な運動なので、各地の公園を開放すれば、サロン等参加の少ない男性も行き場や知り合いも増えて健康に良いと思う。
- コロナ禍で活動できない時期があり、会員の増員、高齢化、後継者の育成などに出遅れてしまった。また、ボランティアをやりたい人は沢山いるのに、うまくマッチングできていないことを痛感する。
- 高齢者の参加で「ケガ」が心配。保険の加入方法の簡素化を検討願いたい。
- 活動運営費の助成を受けやすくしてほしい。
- 運営ボランティアの公募の仕方やコツなどあれば知りたい

【子育て支援】

- 来年度以降、江東区施設の利用料値上げが予定されている中、助成金額が変わらないままですと、参加費を上げなければ活動ができない状況です。今年度より、利用料値上げを想定し、参加費も上げました。
- 活動が始まった平成22年頃と現在では、訪問する子育て家庭の変化が大変感じる。
- 個人のご協力によって使わせていただいている会場なので、遠からず移転が求められるので、移動場所が心配
- 電話による悩み傾聴、相談事業だが、①意外かもしれないが性による悩みがある（但し、リピーターによる悩み）②年々「学校に行きたくない」という声が多くなった（コロナ休校後）③電話よりチャットでの利用が多くなってきた。
- NPO法人化しても相変わらず区からの補助は無いので、財政基盤が弱くもろい事が活動する上での不安定材料となっていること。コロナ禍では予約制を取り運営していたが2年目からは明らかに参加者は減り、運営上の困難が明瞭となり、しかも世代交代を図る時期となっているにも拘らず現状では難しい、という状況を抱え込んでいる。区からの補助を求めたい。

【障害者支援】

- 区内で活動を始めて2年弱です。活動に広がりには、同じ地域で活動している様々な人たちとの繋がりが大切だと気づき、少し周りに目を向ける余裕が出てきました。よろしくお願いします
- 障害者関係の職員の点字に対する理解不足
- 点字の依頼が減っている
- ボランティア団体が会議や打ち合わせを行う場合は区の施設を無料にしてほしい
- 聴覚障害者の人たちも高齢化が進み、訪問・見守り等の需要が増えているが、私たち団体メンバーも高齢化が進み、車椅子による介助を無くすこととし、「外出・散歩・買い物の同行」に変更した。
- 会員の高齢化とこのコロナ禍で人数が減ってしまいました。他の会も人数が減ったので一緒に活動しようか話し合っています。活動場所が全然なしです。
- 音訳という活動のため、一般的なボランティア活動とは少し遠い、視覚障がい者の方との交流会があれば良いなと思っていますが、ちょっと限定過ぎますでしょうか…。
- 親の会を地域にもう少し浸透させていきたい。PRにご協力をお願い致します。
- 活動場所の確保
- コロナ禍にてコンサートの機会がなくなってしまって活動に影響した。コンサートやライブの機会を提供していただけるよう世間に働きかけたい。

【多世代支援】

- 区民館の会場の取り方をインターネットでの抽選にしてほしい。
- 地域活動を通じて地域住民が繋がるという仕組みは、町会・自治会が弱体化している現状では、とても重要な役割を担っていると思います。だからこそ、せめて活動団体の場所代は行政が負担してくれたらありがたいです。
- 活動場所が急遽学校行事等で使用することができなくなることもあるので、安定的に使用できる場所を確保したいです。
- 高齢者社会がコロナ禍に於いて対面する行事ができない為に活動が困難になり、スタッフの活動も不十分になり停滞している。

【まちづくり（みどり・美化）】

- 緑化に関する知識不足
- 高齢化で力仕事ができる人が少なくなっている。
- 団体のメンバーにならなくても、時間のある時に興味ある活動に参加する遊軍的な参加形態もあればいいかなと思います。
- 区の方針では、花植え、花壇の管理など局所的な団体を募集している感が強い。公園など一定範囲の管理を担う団体の育成などによって、まち美化などの活動をより強力に進めることができると思います。
- 4月から立ち上げたコミュニティガーデンです。日頃の活動については江東区から花苗や道具の補助がありますが、活動していく中で補助項目に無い物が必要など雑費がかかる事があります。ボランティア活動の場合メンバーから会費を集めるのは賛否あり迷います。他の団体ではどうしているのでしょうか？特に立ち上げ時は準備金的な支給があると助かります。
- 活動に必要な物資がいただけるのは助かります。交通機関を使い、自腹で参加していただいている方もいらっしゃいます。その方には自腹でご負担いただいています。その部分をサポートしていただけるとお声がけしやすいです。
- 活動を広げていくため、人材の確保と育成に努めたい
- コロナ禍の影響で出来なかったことはいくつかありましたが、活動そのものへの支障は少なかった

と思います。

- コロナ前は他イベントに参加し交流したかったが今はできないのでイベントや団体情報がほしい。また逆に交流可能な団体から連絡ほしい→SNS

【まちづくり（国際交流）】

- ①Zoomの使いかたのスキル習得講座を無料又は安価で行政から提供して欲しいです。
②区内で日本語教室活動を30年続けている。毎週の活動が必須だが、活動場所の確保の困難さが解消されない。
- 日本語支援については、行政がもう少し力を入れて行政自身が大規模にできることを進めて頂けると助かります。また近年、外国人の日本語支援希望者が増えており、特に高校生以上は基本的には日本語レベルに合わせて1対1のオンライン授業で進めていることもあり、常に募集はしていますが、先生が恒常的に不足して人繰りに困ることがよくあります。
- 地域住民と在外留外国人との間に互に避ける傾向がある。

【その他】

- 老人会 コロナ禍で、高齢の方は出不精になって来ている。
- 町会 新規住民への誘致
- 自治会 介入度合いにバラツキがあり、これを解消する知恵がありましたら教えてください。
- 事務所の家賃負担が大きいのでお手頃な事務所の提供を望む。もしくは！荷物の置スペース、会議室など定価、もしくは、無料の会議スペースが欲しい。体育館規模のホールの貸し出しが、増えたら良い。
- 区関係行政・社会福祉協議会と連携して行うことで、活動本来の目的にもっと近づけると考える
- 今後できれば認知症カフェなどでも活動したいと思っている ウクレレ演奏活動
- イベント等の広報の郵送費が負担である。
- 非ITネイティブ、非正規雇用の多くで構成されたグループは属人化され、効率化、合理的から縁遠い。次世代の引き継ぎや、会員同士の協力でも成熟していない部分がある。次世代では、当会ではこのあたりも解決していく必要がある。
- いかに活動場所（ボランティアの受け入れ先）を新たに開拓するかが、今の課題。
- 月2回の勉強会の会場に、ボランティアセンターの活動室をお借りできるのはありがたいのですが、お借りできない時に教育センターや文化センターの手配があり、会場決めがその都度あり、もう少し長い期間での予定が立てられればと思います。
- 動物愛護のため、行政や区の積極的な関与が必要
- 生き物相手のボランティア活動なので24時間対応が必要になる事がある。保護場所として空家を使用貸借したい。
- 行政との連携が一番必要と感じる。保健所、生活衛生課が協働で飼い主のいない猫の活動をやっていただきたい。丸投げはやめて欲しい！

アンケート回答団体一覧

高齢者支援

- 1 江東メイクセラピー和
- 2 ファミリータウン東陽見守り事務局
- 3 NPO 法人深川長屋
- 4 NPO 法人関東シニアライフアドバイザー協会：江東支部（通称 SLA）
- 5 折り紙サークル
- 6 にこにこサロン会
- 7 きらく会
- 8 子供バレー
- 9 手話ダンス江東
- 10 雲雀の会
- 11 東砂三丁目ハイツたすけあいの会“ふれ愛”
- 12 コープ南砂助け合いの会
- 13 グランドゴルフ in 大島
- 14 南砂町グリーンハイツ 日だまりサロン
- 15 かめさん
- 16 ミニディサービス大地
- 17 江東区介護事業者連絡会
- 18 江東区助け合い活動連絡会

高齢者サロン・居場所づくり

- 19 民謡和音会(みんよう わおんかい)
- 20 冬木UDカラオケサロン
- 21 笑話の会
- 22 木場公園ラジオ体操・太極拳サロン
- 23 民謡ライブ和音会(わおんかい)
- 24 櫻川流江戸芸かっぱれ亀戸道場
- 25 カラオケサロン
- 26 ホタルの基
- 27 ブルージュ東大島自治会（ブルー樹の集い）
- 28 K.Wave'1 2
- 29 ベルマロン（銭太鼓・民謡）
- 30 塩浜福祉会館ボランティアサークル「なごみの会」
- 31 パルシステム東京
- 32 なかよしサロン
- 33 ご近所ミニデイ「よっちゃん家」
- 34 メトロハイツ東陽ささえあいの会
- 35 シティコープ千石自治会

子育て支援

- 36 一般社団法人 GREEN TIGER
- 37 大島二丁目防災公園みどりの会
- 38 寺子屋みなてらす

- 39 特定非営利活動法人そだちの木
- 40 子育て支援連絡会
- 41 マミーグリーンクワイア
- 42 おもちゃ病院江東
- 43 公益社団法人東京都助産師会江東地区分会
- 44 あっぶる環境
- 45 東京川の手ママパライン・チャイルドライン
- 46 ハッピーハンド
- 47 おもちゃ病院江東
- 48 おむつなし育児交流会
- 49 ホームスタートこうとう
- 50 パパママラインこうとう
- 51 こうとう親子センターチャイルドライン

子育てサロン・居場所づくり

- 52 NPO 法人子育てサロンすくすく
- 53 かめっこほーむず
- 54 こそだてサロンまんまーの
- 55 サロン DE すみっこ

障害者支援

- 56 江東・失語症のある方のコミュニケーションを豊かにする会(KAC)
- 57 音訳ボランティア 鈴の会
- 58 第2まつぼっくり子ども教室
- 59 音声ガイド江東シネマアイ
- 60 点訳しんせい
- 61 江東区点字サークル木曜会
- 62 東京都ビューティーケア赤十字奉仕団
- 63 麦の花
- 64 さろん・ど・下町
- 65 五朗会
- 66 江東区要約筆記者の会

障害者サロン・居場所づくり

- 67 江東区手をつなぐ親の会（障害児者を持つ親が設立した団体）
- 68 特定非営利活動法人 CLAP STREET JAM
- 69 ミュージックケア祈り音

多世代支援

- 70 オリオンキッズ
- 71 深川よさこい連
- 72 ラポール
- 73 東陽木場地域スポーツクラブ
- 74 銭太鼓同好

多世代サロン・居場所づくり

- 75 砂町よっちゃん家
- 76 コミュニティサロン「カフェ 06」
- 77 たまりば どんぐり(NPO 法人どんぐり)

まちづくり みどり

- 78 ひまわりの会
- 79 ソルティビーチ 22916
- 80 豊洲シーサイドガーデン
- 81 ハッピーおもてなしガーデン豊洲
- 82 冬木UDパトたい
- 83 冬木UD井戸端サロン
- 84 南砂線路公園の環境を守る会
- 85 豊洲おもてなしガーデン
- 86 亀七南ガーデンクラブ
- 87 NPO 法人マザーツリー自然学校
- 88 こうとうビオトープネットワーク
- 89 江東田んぼクラブ
- 90 江東エコリーダーの会
- 91 亀九緑化ガーデン
- 92 旧中川花畑くらぶ
- 93 江東区更生保護女性会「みどり」
- 94 大島四丁目町会長寿みまわり園芸クラブ
- 95 豊洲セントラルガーデン
- 96 みどりネット Koto
- 97 とよ花の会
- 98 江東ハーブ会
- 99 特定非営利活動法人江東区の水辺に親しむ会

まちづくり 美化

- 100 公財) 東京YMCA
東陽町コミュニティーセンター
- 101 リアルライフヒーロー北砂
- 102 江東区生ごみお宝倶楽部

まちづくり 国際交流

- 103 やさしい日本語
- 104 いいね森下
- 105 NPO・中浜万次郎国際協会
- 106 特定非営利活動法人 江東国際交流
- 107 みんなで多文化交流 in 大島

その他

- 108 北砂中央永寿会
- 109 富岡一丁目町会
- 110 NPO 法人江東こども劇場
- 111 江東の女性史研究会
- 112 家なき猫
- 113 朗読サークルロンド
- 114 認定 NPO 法人マギーズ東京
- 115 太極拳仁和
- 116 チームコクア (現在登録申請中) 旧 LaLa
- 117 特定非営利活動法人
江東区ハニービー・プロジェクト
- 118 江東社会福祉士会
- 119 特定非営利活動法人 ねこ辰
- 120 江東ねこの会
- 121 朗読の会マザー・グース
- 122 江東ボラコー会
- 123 朗読サークルかざぐるま
- 124 木場 5 丁目町会
- 125 特定非営利活動法人
いのちのネットワーク江東
- 126 深川ハーモニカサークル
- 127 江東自転車エコライフの会
- 128 フードバンク江東
- 129 南砂住宅自治会 7 号棟委員会
- 130 江東区花火大会実行委

2022 年度地域活動団体现況調査報告書

- ◆発行：江東区助け合い活動連絡会
- ◆発行日：2023年3月1日
- ◆連絡先：〒135-0016 江東区東陽 6-2-17
江東区社会福祉協議会 地域福祉推進課
Tel (3640) 1200 Fax (5683) 1570